



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



ミャンマー 寺院でのお祈り風景

NEWS

新型コロナウイルスの影響で、依然として各国の出入国の制限が行われており、入国後の待機期間などの制限は続いています。技能実習生に関しては数少ない航空便の枠を取りながら続々と入国してきています。当組合の関係では、9月末に入国した実習生が約1ヶ月間の入国後講習を無事終了し、11月に実習先に配属されました。その後入国した実習生についても、徐々にですが順調に各々の実習先への配属が行われています。年内には50名を超える実習生がベトナムおよびミャンマーから入国する見込みです。実習生をお待ちになっていらっしゃる法人様には、ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、いましばらくお待ちください。

なお、ミャンマーでは、事前に日本語を学んでいる実習生候補がたくさん集まっています。いまだ現地での面接は難しい状況ですが、WEB面接等は随時実施可能ですので、ぜひご検討ください。

入国後講習施設のいま

技能実習生は、入国後約1か月間の講習を経て、実習先に配属されます。アイブリッジ協同組合では、そのための介護に特化した研修センターを静岡県伊東市で運営しています。この研修施設も、新型コロナウイルスの影響により、しばらくは開店休業の状態が続いていましたが、9月下旬に実習生の入国が再開して以降、にわかに忙しくなりました。現在も継続して多くの実習生を継続して受け入れ、そして配属先に送り出しています。

入国後講習の内容

入国後講習では、日本語の学習、介護に関する専門知識、日本の文化や生活習慣などについて、外国人技能実習制度に基づき所定の講習を行います。

技能実習生のほとんどは日本に来るのがはじめてです。そのため、技能実習生が今後日本で実習や生活をおこなうためには、日本語の能力に加えて、日本の文化や習慣を学ぶことも重要です。安全教育から基本的な生活ルールやコミュニケーションの取り方まで、初めて日本で暮らす実習生が感じる不安に対して、常駐する日本語教育能力検定試験合格者の日本語講師をはじめとする講師陣が懇切丁寧に指導を行っています。



さらに、専門知識を身に付けることにより、実習生たちが抱える不安を解消し、自信をもって実習を始めることができるよう、実務者研修教員資格をもった講師による介護講習に加え、提携する特別養護老人ホームでの実習も行っています。

また、より効果的な講習を目指し、EQ(行動特性)テストを参考に実習生一人ひとりの特性を加味した講習や進捗度合いの確認などとともに、研修施設に宿泊施設を併設することにより、研修期間の生活にまで指導が行き届く環境の整備に取り組んでいます。

入国後講習の標準的なカリキュラム（介護職種）

講習科目	講習内容
日本語	総合日本語、読解、文字、発音、会話、作文、介護の日本語
介護導入教育	介護の基本、コミュニケーション技術、移動、食事、排せつ、衣服の着脱、入浴、身体の清潔
法的保護等に必要な情報	入国管理関係法令、労働基準関係法令
生活一般	防災指導、消防訓練、交通安全教育、基本生活ルール

介護導入講習の風景

入国後の介護導入講習では、移動、食事、排せつ、衣服の着脱、入浴、身体の清潔などの介護の基本項目に加えて、実際の介護をスムーズに進めるために重要なコミュニケーションの技術を学びます。

また、実習生は、研修センターに併設する宿泊施設内で共同生活をしながら講習期間を過ごします。そして約1か月後、いよいよ実習先に配属されます。



実習生紹介：H t a y L w i nさん

テェ・ルイン 国籍：ミャンマー 年齢：22歳
東京都・特別養護老人ホーム配属（2020年2月入国）

はじめて日本に来た時は人混みと寒さに驚きましたが、今はだんだん慣れてきました。

仕事は大変ですが、楽しいと思います。指導員や先輩たちも優しいです。わからないことがあったら簡単な日本語で説明してくれて、新しい作業も上手くできるまで何回も教えてください。仕事や生活に悩みがある場合も相談に乗ってくれますので、とてもありがたいです。

職場には他の国の人たちもいて、休みの日はみんなで一緒に散歩をしたり、買い物に行ったり、自分の国の料理を作ったり食べていたりしています。仕事で嬉しかったことは、利用者さんが私の誕生日を覚えていて、お祝いをしてくれたことです。

一番好きな日本語 → 「これからお世話になります」
遊びに行きたい所 → 東京タワー



3年間の実習が終わっても、このまま日本で仕事を続けたいと思います。

将来の夢は日本で学んだ介護技術で自国に貢献することです。

ミャンマーの特徴

弊組合で多くの技能実習生を受け入れている、ミャンマー連邦共和国についてご紹介します。

ミャンマーの概要

ミャンマー連邦共和国、通称ミャンマーは、東南アジアのインドシナ半島西部に位置する共和制国家で、68万km²の国土（日本の約1.8倍）に約5500万人（2020年）が暮らしています。旧首都であるミャンマーの中心ヤンゴンには人口約540万人の大都市です。

2011年の新政権の発足後民政化が進み、2016年にはスーチー氏が率いるNLDが政権を獲得しました。急速な改革と外資の流入により経済発展が進んでいます。また、2020年に行われた総選挙でNLDが圧勝し強固な政権基盤を築いたこともあり、日本を含む世界各国からの関心がさらに高まっています。

人口の9割が仏教徒であり、13%が僧侶と言われている世界でも指折りの仏教国です。



ミャンマー人の特徴



明るく、向上心が強く、勤勉であるとされ、性格はおっとりしていて自己主張が苦手な人が多いようです。敬虔な仏教徒が多く、輪廻転生を信じ、五戒という仏教徒が守るべき五つの戒を厳守するよう小さいころから教えられています。徳を積むという考えの下、人のためになること、良いことを行う習慣があり、特に僧侶・先生・両親を敬い、家族・高齢者を大切にする愛情深くおおらかな国民性が特徴です。ホスピタリティ精神が強いこともあり、技能実習において介護の人气が高く、弊組合でも多くのミャンマー人を受け入れています。

また、ミャンマー人の母国語であるビルマ語と日本語は、主語・述語の並び順が同じで、単語を母国語に当てはめるだけで文章ができあがるため、他の国の実習生に比べ日本語の上達が早いのが特徴です。さらに、働き者の女性が多いことも特徴で、多くの女性が介護の現場で活躍しています。



※仏教の五戒

- ①殺生をしない ②盗みをしない ③淫らな行為をしない ④嘘をつかない ⑤飲酒をしない

<外国人技能実習制度について詳しく知りたい>

⇒ 電話 03-6228-4196 または メール niimi@ibridge.or.jp でお問合せ下さい。担当：新見(ニイミ)



アイブリッジ協同組合

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル9F
TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4896
URL：<https://www.ibridge.or.jp>

